

# フィンランドの音楽教育における “Artistic Research”の展開 —シベリウス音楽院の事例を中心に—



“Artistic Research”は  
深い他者理解と内省を促す芸術教育の手法です。  
これを音楽教育に援用し、研究を行っている  
シベリウス音楽院のアヌ・ランペラ氏と  
タンペレ交響楽団のレーッタ・ナータネン氏を  
お招きし、最新の動向についてお話しいただきます。  
併せてミニ・コンサートもお楽しみください。

2023年10月10日(火)

18:15～20:15

広島大学教育学部音楽棟F101演奏室  
定員：100名（参加費無料）

▲ *Anni Lampela*  
*Sibelius Academy*

司会進行 徳永崇（広島大学）

17:30 開場

18:15-18:45 レクチャー1：

アヌ・ランペラ（シベリウス音楽院講師）

18:45-19:15 レクチャー2：

レーッタ・ナータネン

（タンペレ・フィルハーモニー管弦楽団クラリネット奏者）

19:15-19:30 質疑応答：

19:35-20:15 ミニ・コンサート：

Sulho Ranta (1901-1960): La Sera (1932)

Juha T. Koskinen (1972-):

Dream Transmission (2019) ほか

▶ *Reetta Näätänen*  
*Tampere Philharmonia*

EDUCATIONAL VISION RESEARCH INSTITUTE

主 催 科学研究費（C）「フィンランドの学校教育における音楽創作指導に関する調査研究」  
（研究代表者：徳永崇）

共 催 広島大学教育ヴィジョン研究センター（EVRI）

参加をご希望される方は、下記のご連絡先までお申込みください。

音楽文化教育学領域 徳永 崇 E-mail：t-tokunaga@hiroshima-u.ac.jp

